

クロアワビ



- ・ 沿岸の岩礁域に生息し（メガイアワビより浅い）、主に外房地区で素潜りにより漁獲される。
- ・ 4～5歳で制限殻長の12cm(230g前後)に達する。
- ・ アワビ類の産卵期は10月～翌年1月。
- ・ 1968年からアワビ類の種苗放流が行われている。近年の一般漁場における混入率(過去5年平均)は1～21% (※1)。

※1 漁獲物調査を実施している千倉2地区、鴨川1地区、勝浦1地区の2014年～2018年の平均。

資源評価

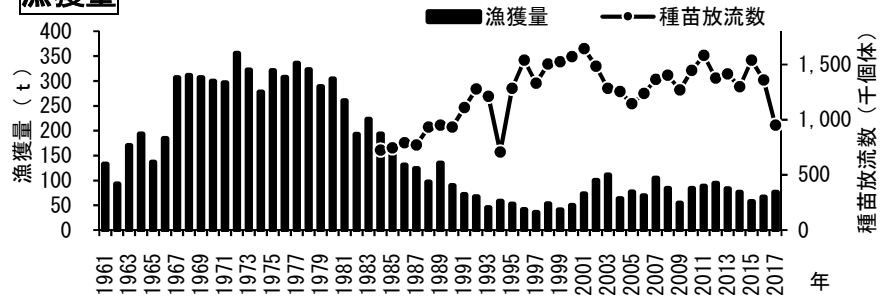
水準：高位 (※2)



動向：横ばい



漁獲量



クロアワビ漁獲量 (千葉県調べ) 及び種苗放流数 (栽培漁業種苗生産、入手・放流実績 (全国)) の経年変化

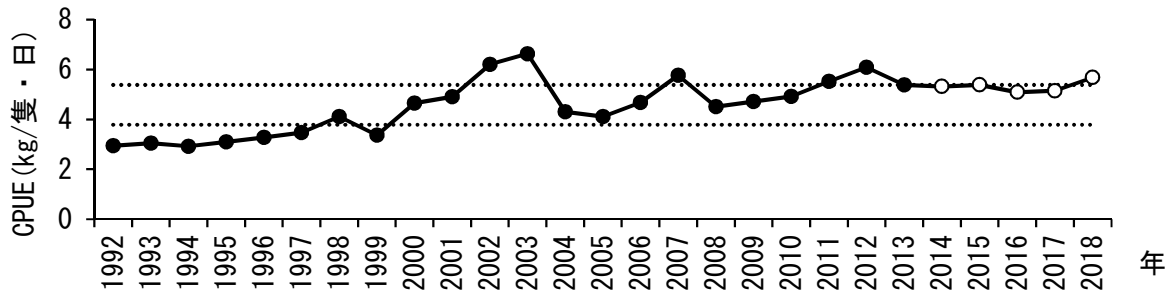
- ・ 最大は1972年の355t。
- ・ 最小は1997年の35t。
- ・ 2017年は76t。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は主要地区一般漁場の素潜り漁業のCPUEで判断した。
- ・ 2018年の資源水準は最近27年間の高位(※2)。最近5年間の資源動向は横ばい傾向となった。

※2 評価期間内のデータから判断される資源状況は「高位」であるが、それ以前の資源水準(CPUE)は漁獲状況等から現在を上回っていたものと考えられる。



クロアワビ主要地区一般漁場素潜り漁業 CPUE の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 千葉県海面漁業調整規則で制限殻長(12cm以下のものは採捕してはならない)と禁漁期間(9/16～3/31)が定められている。
- ・ 漁法の制限、操業時間の制限、種苗放流、密漁対策、禁漁区漁場の輪採制の導入及び稚貝保護区の設定等、漁業者による自主的な資源管理や増産活動が行われている。